

令和4年7月19日時点の情報に基づき作成しています。

3回目接種をご検討ください

自分と大切な人を守るため、今自分にできることを

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています

多くの方が軽症または無症状ですが、感染者の増加に伴い、中等症、重症の方が増えることが懸念されます。

お一人おひとりの基本的な感染防止対策の徹底に加え、3回目接種がまだお済みでない方は、発症や重症化を防ぐため、あらためてワクチン接種の積極的な検討をお願いします。



オミクロン株は重症化することは少ないものの、感染力が強いため、感染拡大による重症例の増加が懸念されています。

若い人であっても、新型コロナに感染することにより、重症化することや長引く症状(いわゆる後遺症)が生じることがあります。

3回目接種の効果

1・2回目接種後、ワクチンの効果は時間の経過とともに低下していきませんが、18歳以上では、3回目の接種を行うことにより、オミクロン株に対する感染予防効果や発症予防効果、入院予防効果が回復すると報告されています。

3回目接種をした人のほうが
感染や重症化が
少なくなっています



※厚生労働省ウェブサイト「新型コロナワクチンQ&A」参照

3回目接種の安全性

副反応

モデルナ社ワクチン及びファイザー社ワクチンいずれの場合も
発生頻度は2回目接種後とほぼ同じ

接種後1週間以内に見られた様々な症状は、2回目接種後より発生頻度が低いとの報告もあります

接種後に接種部位の痛みや、倦怠感、発熱の症状が見られますが、接種3日後にはほぼ消失しています。一方でリンパ節症(リンパ節の腫れ)は、3回目接種後の方が、発生頻度は高くなっていますが、ほとんどの場合が軽度で、発生後短期間で症状が治まっていることが確認されています。

また、頻度としてごくまれですが、心筋炎・心膜炎やギラン・バレー症候群を疑う事例が報告されています。



ワクチン接種後数日以内に、胸の痛み、動悸、息切れ、むくみ、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診してください。

心筋炎・心膜炎

ごくまれにありますが、ほとんどが軽症です

ほとんどの人が軽症で、短期間に回復していますが、10代及び20代の男性に多く、モデルナ社のワクチンを接種した場合の発生頻度の方が高くなっています。

しかし、**新型コロナウイルスの感染により心筋炎や心膜炎を発症することがあり**、その発生頻度を考慮すると、ワクチン接種によるメリットの方が大きいと考えられます。



心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度

人口
100万人
あたり

ワクチンを接種した場合		
モデルナ	12～19歳 男性	59.7人
	20～29歳 男性	40.1人
ファイザー	12～19歳 男性	42.2人
	20～29歳 男性	10.4人

新型コロナウイルス感染症にかかった場合	
12～17歳 男性	501～649人
18～29歳 男性	553～1006人

武田社ワクチン(ノババックス)

18歳以上の方は武田社ワクチン(ノババックス)も、1～3回目接種に使用できるようになりました。

B型肝炎ワクチンなど他のワクチンでも使用実績がある「組換えタンパクワクチン」で、mRNAワクチン(モデルナ社ワクチン及びファイザー社ワクチン)にアレルギーがある方も接種を希望できます。



接種券の再発行

接種を受けるには接種券が必要です。紛失等により3回目の接種券がお手元になの方は再発行の申請が必要です。申請から接種券の発送まで10営業日程度かかりますので、お早めに申請を。

手続きの詳細は市ウェブサイトまたは次のコールセンターから

横浜市 接種券 再発行 検索



お問合せは **横浜市 新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター** まで

☎ 0120-045-070 **FAX 050-3588-7191**
(耳の不自由な方のお問合せ用FAXです)

受付時間 毎日9時～19時(電話のおかけ間違いにご注意ください) 対応言語 English、中文、한국어、Tiếng Việt、नेपाली、Português、Español、日本語

最新情報は**こちら**

横浜市ウェブサイト新型コロナウイルスワクチンについて(特設ページ)

横浜市 ワクチン接種

